

LMSを活用した学習習慣の定着をめざした取組

～知識の習得に特化した教材による繰り返し学習を通して～

福島県立白河実業高等学校 教諭 齋藤 亮

1 研究の趣旨

知識を習得させるためには、授業だけでなく授業以外の学習も大切である。近頃は、授業以外の場面で長時間学習する生徒と全くしない生徒に二極化する傾向が見られる。全く学習しない生徒が授業以外の場面で学習するように、学習習慣を定着させることが必要である。

そこで、知識の習得に特化したLMS（Learning Management System：学習管理システム）を生徒に活用させ、達成感を感じさせることができれば、学習習慣を身に付けさせられると考え、以下のような仮説を設定した。

授業以外に学習する場面において、以下の手だてを講じれば、生徒は達成感を感じ、繰り返し学習するようになり、学習習慣が身に付くだろう。

【手だて1】 生徒が短時間でも取り組めるLMSや教材の作成

【手だて2】 生徒の使用する場面を想定したLMSの活用指導

2 研究の概要

(1) 【手だて1】 生徒が短時間でも取り組めるLMSや教材の作成

- ① 本研究で作成するLMSや教材のコンセプト
 - ア 学習に取り組む抵抗感を軽減する
 - イ 達成感や自信を持たせる
- ② NetCommonsの活用
- ③ LMSサイト構築と朝学習復習問題作成入力についての作業過程
- ④ 教科指導問題作成入力についての作業過程
- ⑤ LMSサイトの構築
 - ア LMSサイトの設計
 - イ LMSサイトの作成
 - ウ LMSサイトの構築についての考察

(2) 【手だて2】 生徒の使用する場面を想定したLMSの活用指導

- ① 活用指導の準備
- ② LMSの操作方法や利用マナーに関する指導
- ③ 朝学習との連携を図った活用
 - ア 朝学習との連携を図った活用におけるLMSの活用指導
 - イ 朝学習との連携を図った活用についての考察
 - LMSの活用による学習習慣の定着について活用事前・事後アンケート調査やLMSの学習履歴分析を活用して行動面・意識面から変容の検証をおこなった。
- ④ 教科指導での活用
 - ア 教科指導での活用におけるLMSの活用指導
 - イ 教科指導での活用についての考察
 - LMSの活用による学習習慣の定着について活用事前・事後アンケート調査やLMSの学習履歴分析を活用して行動面・意識面から変容の検証をおこなった。

3 成果と今後の課題

(1) 研究の成果

本研究で構築したLMSを活用することにより、授業外で学習をしなかった生徒や、学習時間が短い生徒が学習するようになり、LMSの活用時間を含め授業外の学習時間が増えることが明らかになった。また、生徒が、知識の習得に特化したLMSを活用して学習することで達成感を覚え、学習することに対して自信を持つことで、自ら繰り返し学習するようになることが明らかになった。さらに、NetCommonsを活用することでLMSを簡単に構築できることが明らかになった。

(2) 今後の課題

授業外の場面で学習する習慣を確立させるためには、生徒の実態に応じたLMSを計画的に準備し、それを活用させるための適切な指導が必要である。LMSの活用で身に付いた学習習慣を、生徒がLMSを活用しない学習場面でも生かせるような指導の在り方について検討する必要がある。

